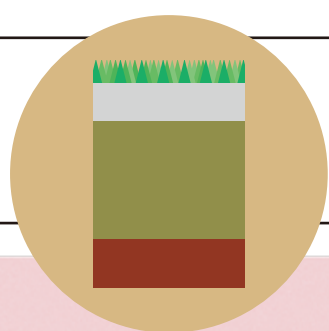


N 固結型



特徴

- ・ 水はけが悪い。
- ・ 排水層（礫層または暗渠排水溝）を設けていない。

解説

床土として、土（畑土）、マサ土、粒子が細かい砂、崩れやすい砂、角ばった砂などを用いて造成された芝生地で見られるケースです。踏圧によって床土が固結し排水不良を起こしています。このような状態は、水の移動を妨げるほか、根の伸長阻害、耐踏圧性の低下、密度の低下などに繋がります。また、地盤が粘土質で排水構造も設けていない場合、芝生地の排水は主に勾配による表面排水に頼ることになります。しかし、不陸や造形上、周りから水が集まるような箇所では水溜りができるなど、スポーツターフとしての品質を著しく損なうことになります。

対策

多くの場合、表層から深さ20cm 付近まで土壌が固結しているため、深層まで届く機械を使用し、締め固まった土壌をほぐす必要があります。有効な作業としては、シャットリング、スリッティング、ディープエアレーション、ドリルエアレーションなどがあります。これらの深層エアレーション作業によって排水性はある程度向上します。しかしながら、基盤排水が整備されていないため根本的な排水改善は望めません。特に水の溜まりやすいエリアに対しては、PC ドレーン、サンドカーテン、スリットドレーンなどの暗渠排水の施工をお勧めします。